

とおたるけあ

第18号



日本医療機能評価機構認定病院



登別市登別温泉町風景

診療報酬・介護報酬同時改訂を終えて



三愛病院法人本部
事務局長 菅家 由美

今年の4月、診療報酬と介護報酬の同時改訂が行われました。これは6年に一度のことであり、今後改訂の内容や医療・介護制度の方向性に医療機関や介護事業所の経営が大きく影響を受けることが必至とされます。今回の改訂のポイントは「社会保障・税の一体改革案」で示された「2025年のあるべき医療・介護の姿」実現に向けた第一歩と位置付けられています。これは、単なる診療報酬改定のみならず、今後到来する「財政状況が厳しい中での人口減少、そして超高齢化社会」においても持続可能な医療・介護サービスが受けられる社会の実現が目標として示されています。団塊の世代が後期高齢者になる2025年まであと13年、1947年～1951年生まれ、いわゆる団塊の世代の方々が全員75才以上となり、その年以降医療・介護への需要が飛躍的に高まることが予想される「2025年」までに超高齢化社会のあるべき姿を見据えつつ、「病院・病床の機能の分化・強化と連携」や「地域包括ケアシステムの整備」等を通じて、より効

果的・効率的な医療・介護サービス体制の構築を目指す、とされています。今改訂の、診療報酬については「医療機関の機能分化と医療の質の向上」という従来と同様の医療政策の方向性に沿いながら、配分が行われています。介護報酬改定は前回同様プラス改訂となったものの、介護業界における最も重要な課題である「人材確保」に係る「介護職員処遇改善交付金」が本体とは別に設置されておりましたが、今回、本体に組み込まれることになったため、実質的にはマイナスとなり、より厳しい経営の舵取りを強いられることとなります。今後、診療報酬・介護報酬改訂の内容はもちろんのこと、医療・介護制度の大きな方向である「2025年モデル」、すなわち「施設から地域へ」・「医療から介護へ」及び「医療・介護相互の連携進化」という流れを見据え、制度の動向とともに地域の状況・ニーズや自院・施設の強みも踏まえ、「地域においてどのような役割を担うべきか」について検討し、他の機関との連携等も図りながら役割を果たす上で必要とされる機能の拡充を図ることが重要と思われる。



特定医療法人
社団千寿会 **三愛病院**

〒059-0493
北海道登別市中登別町24番地12
TEL (0143) 83-1111
FAX (0143) 83-1361

<直通TEL>

歯科口腔外科 (0143) 83-3991
 医療福祉相談室 (0143) 83-3207
 地域生活支援室 (0143) 83-3572
 精神科デイケア (0143) 83-2520

<URL>

<http://www.sanai-hospital.or.jp>

<E-mail>

post@sanai-hospital.or.jp

<診療科目>

精神科・老年精神科・内科
 老年内科・心療内科・消化器内科
 皮膚科・リハビリテーション科・泌尿器科
 眼科・歯科口腔外科・歯科

<診療時間>

平日 午前9時 ～ 12時
 午後1時 ～ 5時
 土曜日 午前9時 ～ 12時



作成：三愛病院 広報委員会

障害者グループホームのご案内

障がい者グループホーム
カワセミ(翡翠)・ヤマセミ(山翡翠) / アザリア

総合施設長 辻 弘之

当事業所は、精神障がい者の方を主な対象に、共同生活援助サービスをご提供しています。これまでの「施設」サービスから、「在宅」サービスに理念を移し、入居者様にとって出来る限りご自宅に近い環境をご提供するよう心掛けています。施設と異なる特徴は、入居期限や入浴日の制限などもなく、集団生活の中で社会性を学びながら自分らしい生活スタイルをつくりあげていくことが出来ます。スタッフは、サービス管理責任者(社会福祉士)の他、精神保健福祉士、ヘルパー資格を取得した世話人など合計10名体制で運営。生活相談や生活介護など、日常生活全般にわたるきめ細やかなサービスをご提供しています。

法律上も在宅と同様とされていますので、当ホームから就労支援施設へ通所したり、一般的なアルバイトなどに通勤することも可能です。また、当ホームを病院と地域生活の中間点として、地域でアパートなどを借りる前の生活リハビリテーションの場としてご利用いただいている方も多くいらっしゃいます。

ご希望によって、いつでも見学・相談受付を行っておりますので、お気軽にホームまでお問い合わせください。



北海道テレビ(HTB)で当院が紹介されました

平成24年3月17日、北海道テレビ放送で放映中の「医TVわたしたちの医療」で当院の紹介が放送されました。理念や方針に加え千寿会が地域の医療に対して行っているサービスなどがご理解頂けると思います。放送動画を当院ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

病院理念

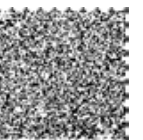
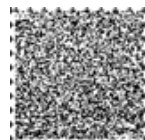
- 1.精神障害者と高齢者を対象に、医療・保健・福祉のトータルケアを目指します。
- 1.自然環境との調和を大切に「癒される」病院創りを目指します。
- 1.チーム医療により良質な医療と地域に開かれた機能的病院を目指します。
- 1.常に謙虚に患者様と御家族の気持ちに寄り添い、心ごもった医療の提供を目指します。

基本方針

当病院は自然環境を生かし、アメニティの充実を図ると共に、精神科ではチーム医療における質の高い医療を追求しています。
 法人グループの各施設がそれぞれの役割を担い、医療・保健・福祉における連携と人権を尊重し、患者様並びに御家族との相互理解を深め、地域のニーズに合った信頼される医療の提供をいたします。

患者の権利

- ・一人の人間としての尊厳を尊重され、丁寧に敬意をもって扱われる権利を有する。
- ・差別されることなく、公平かつ適切で良質な医療を継続して受けられる権利を有する。
- ・医療に関する個人情報保護されるとともに、私的なことに干渉されない権利を有する。
- ・自己に関する医療行為や医療情報に関して十分な説明を受けることができ、その上で、治療方法に関して選択できる権利を有する。
- ・医療費、治癒の援助に関する情報や説明を受けることができる権利を有する。
- ・健康や病氣、保健サービスなどについて教育を受ける権利を有する。
- ・医療の充実・改善をはかるために、苦情や意見を申し立てることができる権利を有する。





新たな診療科を開始いたしましたので、ご案内致します

平成24年4月11日付で眼科、泌尿器科の外来診療を予約制にて行うこととなりました。診療をご希望の方は 外来までお気軽にお問合せをお願いします。

※眼科：隔週土曜日の午前
※泌尿器科：毎週水曜日の午後

＜問い合わせ先＞
0143-83-1111 (代表) 外来迄

	月	火	水	木	金	土
精神科	●	●	●	●	●	●
内科	●	●	●	●	●	●
皮膚科					●	
泌尿器科			●			
眼科						●

●診察時間 平日 午前 8:30~11:30
午後 13:00~16:30 (要予約制)
土曜日 午前 8:30~11:30
●休診日 日曜日・祝日



総合健診のご案内

今年度より、健康診断事業について通常の事業主健診に定められた項目に加え、上部消化管の検査、腹部超音波検査を含めた総合的な健康診断を実施しています。又、総合健診を含めた、様々なオプションメニューもご用意させていただいており、自らの選択で健診をお受けいただく事も可能となっております。

スタッフにつきましても、健診の専任医師を含め充実していますので、健診結果に基づいての2次検査、特定健診、特定保健指導を実施しています。毎日の生活の中で、私たちの心と体にかかる色々な負担は、長い生活の中で知らず知らずのうちに体の色々な部分を衰えさせ『生活習慣病』の大きな要因となっております。

今回の総合的な健康診断では、自分たちの健康をあらためて見直すひとつのきっかけにしてみたいでしょうか。健診をご希望される方は三愛病院迄お気軽にご相談ください。



第2回市民公開講座開催

平成24年3月22日、本院が主催する第2回市民公開講座が登別市民会館中ホールを会場に開催されました。講師には当院で漢方外来の診療にあたっております金上宣夫医師(日本東洋医学会会員)が行いました。市民公開講座の企画は第2回目となり会場には平日にもかかわらず約120名の参加がありました。『ストレス社会と漢方~ちょっと工夫すれば元気になれる~』と題して講演を行い、「ストレスとは何?」から始まり上手なストレス解消法、西洋医学と東洋医学の違いから漢方の説明まで約1時間にわたり講演をしました。市民の漢方に対する興味は非常に高い様で講演後もっと詳しく聞きたいという参加者の声も聞かれました。金上先生は当院にて外来を行っておりますので、気になることがございましたら、外来診療日を確認し外来へお越し下さい。



~こんにちは 看護部待遇委員会です~

看護部待遇委員会は2011年3月1日より看護部全員を対象に待遇に対する意識の向上、職員の資質およびサービスの向上を図ることを目的に活動を開始し1年半が経過しました。月1回の委員会の中で待遇向上に向けて学習会や研修会・身だしなみチェック、ご家族に対しての待遇アンケート(年2回)・病棟パトロール(年2回)・あいさつ運動など待遇に焦点を当てた強化月間・待遇標語(目標)の作成など、活動の場を広げながらの取り組みを行っています。まだまだ結果には繋がらない事も多くありますが今後も看護部全体、力を合わせ待遇向上に努めていきたいと思っております。

平成24年度「待遇標語コンテスト」では50点の応募がありましたので優秀作品をご紹介します。

結果発表 最優秀賞「安心は あなたのやさしい 笑顔から」	南3階病棟師長 納谷 公子
優秀賞「あわてるな 忙しいほど ゆっくりと」	西2階病棟一同
優秀賞「思いやり あなたの笑顔 言葉から」	西3階病棟一同



「小規模多機能型居宅介護 みずばしょう開設にあたり」

小規模多機能型居宅介護事業所みずばしょう 計画作成担当 金山 香織

今年の3月1日に高齢者グループホームに併設しオープンしました。

私は計画作成担当者として、利用者の方々のケアプランを作成しております。一人ひとりがいつまでも住み慣れた地域、自宅で暮らし続けることができるようにと、生活支援を意識した計画を心がけています。従って事業所には、人の生活の空気が入り込み自然と笑顔や笑い声があふれます。みずばしょうでは、その日の過ごし方はできるだけ自分で決めていただき、一人ひとりが主体性と独自性を発揮できるようにスタッフが関わりサポートしています。事業所が自宅の延長であり、第2の拠点と思えるような支援を行い、自然に心と足が向く事業所でありたいと思っています。地域の方々にもお気軽に立ち寄っていただき、事業所の雰囲気を少しでも感じていただければと思っております。



住 所：北海道登別市登別東町4丁目48-1
電 話：0143-83-5726
FAX：0143-83-3818



看護の日を振り返り

西3階病棟主任看護師 板狩 義孝

平成24年5月12日の看護の日、登別市のショッピングセンター・アーニスにて、市民の健康チェックや栄養相談、医療福祉・介護相談などを行いました。会場ではポケットティッシュを300個以上配布し、血圧や体脂肪測定を行った人は81名に及び、たくさんの方に足を運んでいただきました。

13日の院内会場では職員のお子さん達が書いた両親の似顔絵の掲示や保育園児がナースに扮するかわいいプチナースのコーナーも行い、患者様など多くの人が足を止め笑顔を見せていました。来年度に向け、地域の皆様や患者様・ご家族様により身近に感じられ、気軽に相談して頂き健康への関心を深めてもらえるよう準備していきたいと思っております。最後にご協力して下さった皆様に感謝します。ありがとうございました。



研修報告について

福岡病院院内研修会に参加して

南4階病棟看護師 西館 貢

今年3月に九州福岡病院にて院内研究発表会に参加させていただき、「長期入院患者における病棟での退院指導」について報告いたしました。発表の中で、福岡病院職員からたくさんの意見をいただき、更に退院指導など患者様に対するアプローチの工夫が必要だと感じる事ができ、有意義なものとなりました。

また、福岡病院職員の研究内容も大変興味深いものばかりで、たくさんの意見交換もあり、活発な研究発表会でした。研究会終了後は福岡病院内を見学させていただき、広大な敷地内を時間をかけ説明していただく配慮も大変うれしく、新鮮な体験でした。

今回、このような貴重な経験を活かされるよう今後の病棟での退院指導はもちろん、患者様へのアプローチも工夫をし、より患者様中心の看護を目指し取り組んでいきたいと思っております。

日本認知症ケア学会に参加して

リハビリテーション科PT部門 理学療法士 藤田早苗

本年5月に開催された本学会では、介護の変遷(自宅介護→施設介護→地域介護へ)の中で『誰が、何処で、介護を担うのか?』を主題に、我が国や英国の介護事情とその実践が、又、権利擁護を必要とする認知症者の実例や、認知症高齢者グループホームからは【終末期ケア=死の看取り】と【残された家族へのケア】の大切さが報告されました。

今後、増え続ける認知症者とその家族を支えるために『認知症者をどう捉え、どう接してゆく事が大切なのか?』『家族を支える=認知症者を支える⇒終末期ケア』の視点から、【今、何が出来るのか?】を考えてゆきたいと思っております。

